

一般社団法人日本数式処理学会

2026年度定時社員総会議事録

総 18002 号

一般社団法人日本数式処理学会会長濱田龍義は理事会の決議に基づき 2026 年度定時社員総会の召集を定款 35 条第 1 項により公示した。
また、この社員総会は、一般社団法人法第 49 条第 2 項の規程を適用し社員は書面によって議決権を行使することができることとする。

開催日時	2026 年 6 月 30 日 19 時 05 分 ~19 時 35 分
開催場所	神奈川県横浜市
総社員 (代表会員) 数	20 名
総会定足数	11 名
出席社員数	20 名
議場出席社員数	1 名
議場出席社員	濱田龍義
オンライン出席数社員数	18 名
オンライン出席社員	石原侑樹, 大墨礼子, 大橋真也, 甲斐博, 小原功任 近藤祐史, 工藤桃成, 讃岐勝, 篠原直行, 関川浩, 照井章 中川重和, 中山洋将, 長坂耕作, 鍋島克輔, 野呂正行 藤本光史, 藤村雅代
書面評決社員数	1 名
書面評決社員	横山俊一
出席理事数	7 名
出席理事	濱田龍義, 鍋島克輔, 藤村雅代, 大墨礼子, 小原功任 照井章, 中山洋将
出席監事数	2 名
出席監事	関川浩, 中川重和
議長	濱田龍義
議事録作成者	理事 大墨礼子

議長の選出
一般社団法人日本数式処理学会 会長 濱田龍義は、定款 37 条により 2026 年度定時社員総会議長に就任した。

定足数の確認

総会開催に必要な社員(代表会員)の定足数は、定款 38 条に定められた代表会員数 20 名の過半数 11 名であり、本会議の有効出席代表会員数は 20 名で定足数を満たしている事を確認した。

書記の選任

一般社団法人法第 58 条第 1 項, 第 59 条及び同法施行規則第 11 条第 4 項に基づき, 議事録を作成する者の選任を諮ったところ満場一致で理事大墨礼子が選任された。

開会の宣言

一般社団法人日本数式処理学会 会長 濱田龍義は、定款 38 条により 2026 年度定時社員総会議長となり 19 時 05 分総会の開会を宣言した。

目 次

第 1 号議案 選挙管理委員会報告	3
第 2 号議案 第 18 期理事選任数並びに選任方法	5
第 3 号議案 第 18 期理事選任	6
第 4 号議案 第 18 期監事選任	6
第 5 号議案 2025 年度事業報告	6
第 6 号議案 2025 年度会計報告	11
第 7 号議案 2026 年度事業計画	13
第 8 号議案 2026 年度予算案	14
第 9 号議案 名誉会員推挙	15

第1号議案 選挙管理委員会報告

讃岐勝選挙管理委員長

1.1 選挙公告

代表会員選挙管理委員会

選挙管理委員会は、2025年12月25日に代表会員選挙公告(代表会員選挙管理委員会1701号)を決定した。公告方法は、学会webページおよび会員へのダイレクトメールによって行うこととした。

一般社団法人日本数式処理学会代表会員選挙公告

選挙1701号

代表会員選挙管理委員会は、日本数式処理学会代表会員選出規定にもとづき、第18期日本数式処理学会代表会員を選出する選挙について、下記の事項を告示いたします。

立候補届出期間	2026年2月1日から2026年2月7日(必着)
立候補届出場所	election@ml1.jssac.org へのメールで選挙管理委員長宛に提出
立候補必要書類	1. 氏名, 住所, 連絡先, 電話番号, メールアドレスを記載したもの 2. 推薦人名簿もしくは推薦人免除書
投票用紙の配布	2026年2月8日から2026年2月14日の間
投票開始日	2026年2月15日
投票締切日	2026年2月26日(当日消印有効)
投票形式	選挙管理委員会交付の葉書による5名連記の投票用紙に記載する
開票日	2026年3月4日
当選の確定日	2026年3月4日
第18期代表会員の任期	2026年4月1日～2028年3月31日
第18期代表会員の定数	27名

以上により第18期代表会員の立候補を受け付けます。

代表会員選挙規定については、下記をご覧ください。

<http://www.jssac.org/General/Law/Election/index.html>

2025年12月25日

一般社団法人日本数式処理学会

代表会員選挙管理委員会 委員長 讃岐勝

1.2 立候補者

代表会員選挙管理委員会

立候補の締切の後、選挙管理委員会は次のような決定をおこなった。

第 18 期一般社団法人日本数式処理学会代表会員選挙公示

選挙 1702 号

2026 年 2 月 8 日 0 時, 第 18 期日本数式処理学会代表会員選挙管理委員会は立候補受付を終了した。立候補者は次のとおりである。

1. 立候補者名

氏名	所属	特記事項
鍋島 克輔	東京理科大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
濱田 龍義	日本大学	
大墨 礼子	関東学院大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
藤本 光史	福岡教育大学	
藤村 雅代	防衛大学校	選挙規定第 11 条 2 項の 2
照井 章	筑波大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
中川 重和	岡山理科大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
讃岐 勝	筑波大学	
関川 浩	東京理科大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
近藤 祐史	香川高等専門学校	
石原 侑樹	日本大学	
甲斐 博	愛媛大学	
中山 洋将	日本大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
小原 功任	金沢大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
大橋 真也	順天堂大学	
野呂 正行	立教大学	
篠原 直行	関東学院大学	
横山 俊一	東京都立大学	
長坂 耕作	神戸大学	
工藤 桃成	福岡工業大学	

立候補届け出順。

- 以上, 20 名の立候補者で確定いたしました。
- 立候補者数が代表会員の定数 27 を超えておりませんので, 選挙は投票を実施致しません (日本数式処理学会代表会員選出規定第 16 条)。
- 立候補者全員の当選が確定いたしました。

2026 年 2 月 8 日
一般社団法人日本数式処理学会

注

日本数式処理学会代表会員選出規定

第 10 条 [立候補の届出]

代表会員立候補者は次の各号に該当するものとする。

1. 立候補者本人より立候補の届出があった会員。
2. 他の会員より推薦があり本人の同意のある会員。
3. 会長が推薦した会員。

第 11 条 [立候補の届け出書面]

第 10 条 1 項もしくは 2 項によって会員が代表会員選出選挙に立候補するためには、次の書面を選挙管理委員会へ提出する必要がある。

1. 選挙管理委員会が定める立候補の意思を確認する書面
2. 選挙管理委員会が定める書式の次のいずれかの書面
 1. 推薦人名簿
 2. 会長の推薦人免除書

但し第 10 条第 3 項による立候補は、通知が選挙管理委員会になされた時点で立候補したものとす。

第 16 条 [選挙の不実施]

立候補者数が代表会員の定数を越えない場合は、立候補者を当選人とし選挙は行わない。
本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

第 2 号議案 第 18 期理事選任数並びに選任方法

濱田龍義 代表会員

定款第 22 条第 1 項により理事の定数は 5 名以上 15 名以内と定められております。今期は理事を 7 名としその選任方法は前回と同様とするよう提案します。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

第3号議案 第18期理事選任

濱田龍義 代表会員

第18期理事として、濱田龍義、鍋島克輔、藤村雅代、大墨礼子、小原功任、照井章、中山洋将を推薦する。なお、被推薦者は推薦を同意している。

3.1 理事推薦の趣旨

推薦する7名は、これまで様々な面から学会運営に尽力しています。今後も学会の発展に必要と考え、理事に推薦いたします。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

第4号議案 第18期監事選任

濱田龍義 代表会員

第18期監事として、関川浩、中川重和を推薦する。なお、被推薦者は推薦を同意している。

4.1 監事推薦の趣旨

推薦する2名は、学会において長年にわたり活動され、学会運営に貢献されています。学会全体に対し示唆をいただくために必要な方と考え、監事に推薦いたします。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

第5号議案 2025年度事業報告

5.1 総括報告

濱田 龍義 会長

2025年度事業のうち、大会は対面形式で開催された。また、教育分科会については対面形式で2回、理論分科会はオンラインで1回開催された。新たに分科会合同オープンレクチャーが4つの各分科会ごとにオンライン開催された。学会誌の出版においては、例年通り『数式処理』を発行した。

5.1.1 理事会議決

大墨礼子 理事

2025年度(2026年度社員総会開催まで)の理事会は、下記の定時理事会4回、臨時理事会7回である。正式な議事録は議決後に発行される学会誌『数式処理』に速やかに掲載している。また、議事録の全文は、決定の直後に学会のWebページの議事録の項に掲載している(但し、退会者の氏名は掲載せず会員番号のみの掲載である)。また、一般社団法人に移行した関係で電子的投票は全理事の賛成と監事の異議申し立てがないことが議決の要件になっている。定時理事会は3ヶ月に1回の割合で開催した。

2025 年 6 月定時理事会 (理事会 17021 号)

日本数式処理学会 2025 年度奨励賞, 名誉会員推挙.

2025 年 9 月定時理事会 (理事会 17022 号)

第 34 回大会の開催日程の承認, 「女子中高生夏の学校 2024」参加報告.

2025 年 12 月定時理事会 (理事会 17023 号)

選挙管理委員会の設置承認, 選挙管理委員の選任.

理事会 17024 号

教育分科会講演会・ワークショップの開催における科研費の共催の承認.

2026 年 3 月定時理事会 (理事会 17025 号)

第 35 回大会の開催地, 開催日程および大会実行委員長の変更の承認.

理事会 17026 号

暫定予算案承認, 退会報告.

理事会 17027 号

大会プログラム委員の追加選任及び任命の承認.

理事会 17028 号

「女子中高生夏の学校 2026」後援の承認.

理事会 17029 号

入会承認.

理事会 17030 号

入会承認.

理事会 17031 号

決算承認及び定時社員総会招集.

5.2 会員状況報告

大墨礼子 理事

2026 年 3 月 31 日現在の会員総数は, 337 名である. 会員種別内訳は下記のようにになっている.

会員種別	2026 年 3 月末	2025 年 3 月末	2024 年 3 月末	2023 年 3 月末
正会員	251 名	260 名	265 名	270 名
学生会員	35 名	34 名	33 名	34 名
名誉会長	2 名	2 名	2 名	2 名
名誉会員	12 名	10 名	7 名	7 名
会費免除会員	34 名	36 名	35 名	31 名
賛助会員	3 名	3 名	2 名	2 名
総計	337 名	345 名	344 名	346 名

5.3 学術的会合

5.3.1 一般社団法人日本数式処理学会第34回大会

中山洋将 大会プログラム委員長

第34回大会を、次の日時および場所で開催した。

日時	2025年6月6日(金) 14:20～6月8日(日) 11:40
場所	福井大学 文京キャンパス 工学系1号館3号棟1階 117M 講義室（福井県福井市文京3丁目9-1）
参加者数	23名
内容	一般講演(10件、内奨励賞対象講演2件)、名誉会員特別講演(3件)

奨励賞は推薦者無しであった。

5.3.2 分科会連絡委員会活動報告

長坂耕作 分科会連絡委員会委員長

理論分科会、システム分科会、Mathematica分科会、教育分科会の全4分科会協力のもと、オンラインでのオープンレクチャーを4回開催した。

日時	2025年11月、12月、2026年2月、3月の第3土曜日 17時より1時間程度
場所	オンライン（Microsoft Teams のウェビナー）
参加人数	22名、15名、16名、20名（司会・講演者等含む）
内容	分科会で扱っている基礎的・専門的内容の講演と質疑応答

5.3.3 理論分科会活動報告

石原侑樹 理論分科会運営委員長

2025年度理論分科会を、次の日時および場所で開催した。

日時	2025年7月26日（土）
場所	Zoom によるオンライン開催
参加人数	13名
内容	一般講演（3件）、特別セッション（1件）

5.3.4 教育分科会活動報告

中村泰之 教育分科会運営委員長

第17期第2回ワークショップを次の日時及び場所で開催し、その内容に関する報告を数式処理に寄稿した。

日時	2025年8月26日（火）
場所	キャンパスプラザ京都 第7講習室
参加人数	21名
内容	3件の招待講演と5件の公募講演、およびそれらに関する質疑応答・議論

第17期第3回ワークショップを次の日時及び場所で開催し、その内容に関する報告を数式処理に寄稿した。

日時	2026 年 3 月 28 日 (土) ～29 日 (日)
場所	大阪公立大学森之宮キャンパス 4 階 404 教室
参加人数	20 名
内容	1 件のハンズオンワークショップと 8 件の講演, およびそれらに関する 質疑応答・議論
備考	3 件の科研費プロジェクトとの共催として開催した JSPS 科研費・基盤研究 (A) (一般) 課題番号 21H04412 「解答過程解析を中心とする理数系 e ラーニングの分析・設計・運用に 関する総合研究」 JSPS 科研費・基盤研究 (B) (一般) 課題番号 23K2572 「数学 e ラーニングのためのマルチモーダルな数式入力 UI の研究と 学習支援環境の構築」 JSPS 科研費・基盤研究 (A) (一般) 課題番号 24H00168 「AI 共生時代の大学初年次数学チューニング耐性教材の再定義と 総合学習支援環境の構築」

5.3.5 Mathematica 分科会活動報告 大橋真也 Mathematica 分科会運営委員長 東京電機大学との共催でセミナーを開催した.

日時	2025 年 12 月 17 日 (水)
場所	東京電機大学千住キャンパス
参加人数	10 名
内容	チュートリアル 2 件

5.4 数式処理編集委員会報告 甲斐博 数式処理編集委員長 2025 年度の学会誌『数式処理』の発行状況は, 以下の通りである.

巻	号	発行日	ページ数	特集内容
Vol.31	No.2	2025 年 6 月	77 ページ	齋藤友克先生記念特別研究会報告, 特集論文, 第 17 期第 1 回教育分科会報告, 国際会議 CASC2024 報告
Vol.32	No.1	2025 年 12 月	79 ページ	第 34 回大会報告, 理論分科会報告, 第 17 期第 2 回教育分科会報告

5.5 C.JSSAC 編集委員会報告 藤本光史 C.JSSAC 編集委員長 十分な数の論文が集まっていないため Vol.6 の発行には至っていない.

5.6 広報委員会報告

横山俊一 広報委員長

5.6.1 広報委員会概況

学会の情報発信・社会活動の一環として、学会ウェブページの運用を行っている。2025年度は大きなシステム面での変更は行わなかったが、2020年度よりウェブページにて公開している理事会議事録のアーカイブ形式を HTML から pdf 化し、現在もこの形式で運用を続けている。これにより、理事会終了から掲載までの作業をよりスムーズに行えるようになった。また、ウェブページの cvs 運用の変更を従来より検討してきたが、新システムへの移行の工程・運営負担の比較・セキュリティ上の問題点などから停滞している。そのため、一つの改善案として、web / ML 管理権限の複数の広報委員への付与を試験的に検討している。

5.6.2 サーバの稼働状況

2015年11月より VPS レンタルサーバにて運用している。2025年度の各種委員会の運営用メーリングリストは以下の通りである。ただし2024年秋より、一部のメーリングリストのアドレス変更が実施されている。具体的には「xx17@jssac.org」（xx は分科会名）から「xx@mlx.jssac.org」（xx は分科会名、ml の後の x は識別番号）に変更されている。ただし congress, executive 等は従来通りのナンバリングで運営されている。以下は従来の命名規則：

ML 名	目的
congress17	代表会員の議論ならびに議決のため
director17	理事の議論ならびに理事会議決のため
executive17	常任委員会の議論ならびに運営のため
bulletin17	編集委員会の議論ならびに議決のため
cjssac17	C.JSSAC 編集委員会の議論ならびに議決のため
prog17	大会プログラム委員会の議論ならびに議決のため
pr17	広報委員会の議論ならびに議決のため
modulate17	分科会運営の議論ならびに議決のため
system17	システム分科会の議論ならびに運営のため
theory17	理論分科会の議論ならびに運営のため
education17	教育分科会の議論ならびに運営のため
journal	「数式処理」編集作業のため
tech	web ページ編集作業のため
sty	jssac.sty 編集のため

5.6.3 会員メーリングリスト

2020年2月よりメール専用レンタルサーバにて運用している。ドメインは jssac.org のサブドメインを利用している。2026年5月現在で登録者は74名である。2025年度の投稿数は22通であった。

5.6.4 ドメイン名の維持・管理

毎年6月頃に更新。2017年度よりサーバと同じ会社に管理を移管した。

5.6.5 「女子中高生夏の学校」への広報活動

「2025 女子中高生夏の学校～科学・技術・人との出会い～」に参加し、日本数式処理学会の活動の紹介などを行った。

日程 2025年8月9日(土)～11日(月)
 場所： 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
 主催： NPO 法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト
 (協力: 一般社団法人男女共同参画学協会連絡会)
 後援： 文部科学省, 内閣府男女共同参画局, 独立行政法人国立女性教育会館(NWEC),
 一般社団法人日本経済団体連合会(経団連), 他
 参加者： 大橋 真也, 金光 安芸子, 隠崎 けい(TA 筑波大), 照井 章, 藤村 雅代

10日に実施の学協会が参加するプログラム実験・実習, ポスター展示, 進路・キャリア相談カフェ, 交流会に手分けして参加した。また, 大橋と照井の両名は9日に事前準備も行った。

5.6.6 「男女共同参画学協会連絡会シンポジウム」への広報活動

第23回男女共同参画学協会連絡会において, 以下の報告を行った。

日程： 2025年10月11日(土)
 形式： 日本大学生物資源科学部湘南キャンパス 大講義室&オンライン開催
 主催： 一般社団法人男女共同参画学協会連絡会
 (幹事学会：一般社団法人日本森林学会)
 後援： 一般社団法人日本私立大学連盟
 独立行政法人国立女性教育会館,
 一般社団法人日本経済団体連合会(経団連), 他
 主な活動内容： 日本数式処理学会活動報告2025
 (学会紹介, 夏学での活動報告など)の提出

本議案に対し慎重審議の後, 議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果, 賛成20票である。よって議案は満場一致で可決と決した。

第6号議案 2025年度会計報告

大墨礼子 理事

6.1 収入の部

項 目	予 算	決 算	摘 要
前年度繰越金	2,171,787	2,171,787	
会 費	1,300,000	980,000	
雑 収 入 他	500	1,604	
合 計	3,472,287	3,153,391	

6.2 支出の部

項 目	細 目	予 算	決 算	金 額
大 会 費 用		100,000	35,842	
分 科 会 費 用		200,000	24,739	
	理論分科会			0
	システム分科会			0
	教育分科会			24,739
	Mathematica 分科会			0
数式処理発行費用		600,000	501,983	
	印刷・発送費 (Vol.31 No.2)			259,454
	印刷・発送費 (Vol.32 No.1)			242,529
広 報 費		50,000	34,210	
	VPS			10,890
	女子中高生夏の学校			15,000
	ML			1,320
	シンポジウム参加費			7,000
雑 費 用		100,000	118,108	
	通信費			29,662
	ドメイン登録料			2,493
	雑費			85,953
運 営 諸 経 費		260,000	143,000	
	税理士顧問料			143,000
	登記費用			0
事 務 局 費		100,000	61,999	
	レンタルオフィス家賃			61,999
租 税 公 課		70,000	70,000	
	法人都民税			70,000
小 計		1,480,000	989,881	
次 年 度 繰 越 金		1,992,287	2,163,510	

項 目	細 目	予 算	決 算	金 額
合 計		3,472,287	3,153,391	

6.2.1 監査報告

中川重和・関川浩 監事

会計報告に対し、監事の中川重和・関川浩より以下の監査報告があった。

2025 年度における一般社団法人日本数式処理学会の経理原票ならびに会計帳簿を精査した結果、会計処理が適正であることを一般社団法人日本数式処理学会 2026 年度定時社員総会に報告する。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

第 7 号議案 2026 年度事業計画

濱田龍義 会長

7.1 事業計画概況

2026 年度事業計画は、学会の基本的活動である学会誌の出版と研究発表会の開催を中心に活動を行う。研究発表会以外にも、オープンレクチャー等の社会貢献も視野に入れ、新たな活動を目指す。

7.2 定例事業計画

7.2.1 学術的会合

第 35 回大会 第 35 回大会を、次の日時および場所で開催する (理事会 17025 号)。

日時	2026 年 6 月 13 日 (土) ~ 14 日 (日)
場所	日本大学
大会実行委員長	濱田龍義

分科会研究会 2026 年度は、年 2 回程度の開催を予定している

7.2.2 学会誌発行

『数式処理』発行予定数は次の 2 冊とする。

巻 号	発行日	特集内容
Vol.32 No.2	2026 年 7 月発行予定	
Vol.33 No.1	2027 年 1 月発行予定	

7.2.3 論文誌発行

『Communications of the Japan Society for Symbolic and Algebraic Computation』の発行予定数は、Vol.6 の1冊とする。

7.2.4 広報委員会

広報委員会は以下の事業を予定している

- 女子中高生夏の学校 2026 への参加協力
日時: 2026 年 8 月 8 日 (土)～10 日 (月)
場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター
内容: 実験・実習およびポスター・キャリア相談への参加予定
- WEB ページ管理方法およびサーバ運用方法の検討

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

第 8 号議案 2026 年度予算案

大墨礼子 理事

8.1 収入の部

項 目	金 額	摘 要
前年度繰越し金	2,163,510	
会費収入	1,300,000	
雑収入	500	
合 計	3,464,010	

8.2 支出の部

項 目	金 額	摘 要
大会費用	100,000	
分科会費用 (4 分科会)	200,000	
数式処理発行費用	600,000	Vol.32 (No.2), Vol.33 (No.1)
広報費	60,000	レンタルサーバ費, 「女子中高生夏の学校」費用等
雑費用	200,000	通信費等
運営諸経費	420,000	税理士費用
事務局費	100,000	

項 目	金 額	摘 要
租税公課	70,000	
次年度繰越し	1,714,010	
合 計	3,464,010	

暫定予算 参考のため 2026 年 4 月 28 日に臨時社員総会により議決された暫定予算は下記のようになっている。なお、暫定予算は、2026 年度本予算に含まれている。

項 目	金 額	摘 要
税理士費用	260,000	
租税公課	70,000	
雑費用	60,000	
広報費	10,000	
大会費用	100,000	
合 計	500,000	

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

第 9 号議案 名誉会員推挙

濱田龍義 会長

一般社団法人日本数式処理学会理事会は、2025 年 6 月 28 日の定時理事会 (理事会 17021 号) において高山信毅会員を「日本数式処理学会名誉会員及び名誉会長に関する規程」第 9 条第 1、2 項に基づき名誉会員として推薦することを同会員同意の下に議決した。

推薦理由

- 高山信毅会員は、D 加群に対する数学アルゴリズムの研究、数学ソフトウェアの開発、研究者の育成等に顕著な功績を築き、数式処理の発展に貢献された。以上の功績により名誉会員に推薦する。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

議長濱田龍義 は、全ての議事が終了した旨確認し会議の閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長、出席役員、議事録作成者がこれに記名押印する。

2026年6月30日
一般社団法人日本数式処理学会
2026年度定時社員総会

議長・会長	濱田龍義	⑩
理事	鍋島克輔	⑩
理事	藤村雅代	⑩
理事	大墨礼子	⑩
理事	小原功任	⑩
理事	照井章	⑩
理事	中山洋将	⑩
監事	関川浩	⑩
監事	中川重和	⑩
議事録作成者・理事	大墨礼子	⑩